

3 中学校区における取組の地域への発信

保護者や地域の方々からの協力を得ながら小中一貫教育を進めていくためにも、各中学校区の取組について、説明をしたり情報を発信したりしていただくことが大切です。年度始めには、中学校区ごとの組織体制や取組状況について発信するとともに、必要に応じてホームページ等を随時更新するなどして、地域の方々と情報を共有していきましょう。

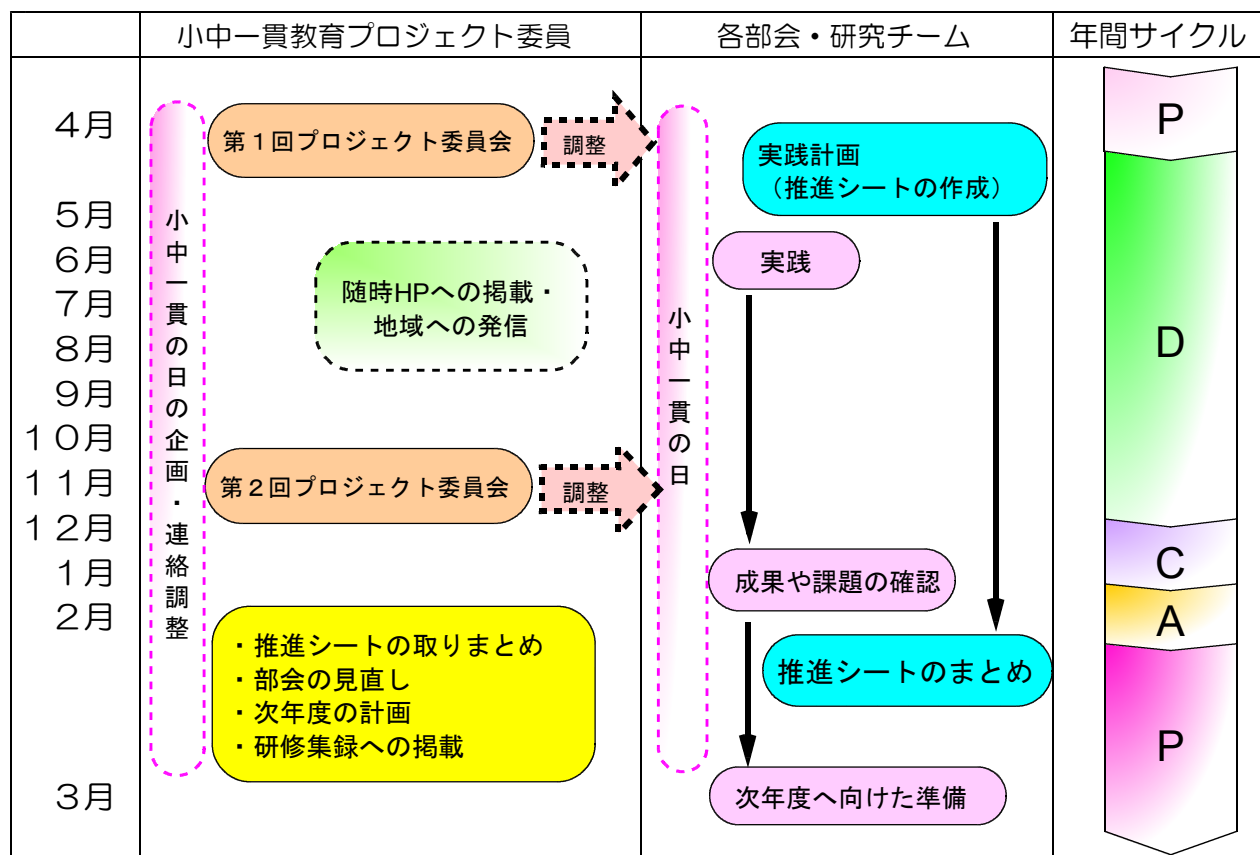
<グランドデザインの内容>

- ・ 中学校区における「目指す子ども像」
- ・ 4-3-2の区切りに基づいた到達目標
- ・ 推進体制（設置部会等）
- ・ 取組の具体
- ・ 中学校区を構成する学校
- ・ 児童生徒や地域の様子



4 年間活動の流れ

1年間の活動の流れは以下の通りです。実践の積み重ねを次の年に生かしましょう。



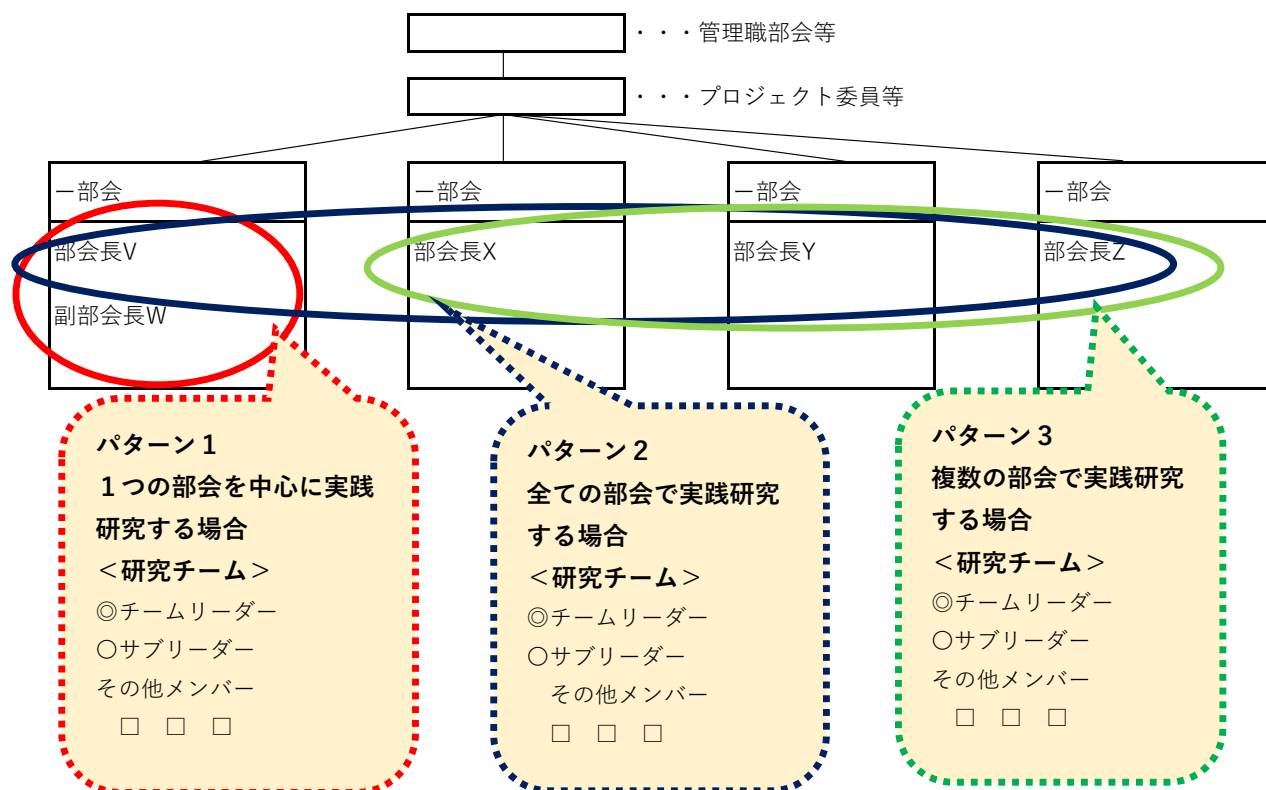
◆実践研究課題の取組

参考資料 1

各中学校区の特色として共通に取り組む課題を「実践研究課題」とし、2年間で1区切りとして研究を進めます。

○研究チームについて

- ・小中一貫教育の組織をもとに研究チームを作り、チームリーダー・サブリーダーを中心に研究を進めます。
- ・各校から1名以上入り、研究内容が各学校内で共有できるようにします。



○推進体制(例)

1 全体組織

	学力向上部会		児童生徒指導部会		健康安全部会		地域連携部会	
	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名
部会長	あ	A	い	F	い	K	あ	O
副部会長	い	B	う	G	あ	L	い	P
	あ	C	あ	H	あ	M	う	Q
	い	D	あ	I	い	N	あ	R
	う	E	い	J				

※学校う は教員数が部会数より少ない

2 研究チーム

パターン3 複数の部会で実践研究する場合の例

	学校名	氏名	役割等
学力向上部会長	あ	A	チームリーダー
児童生徒指導部会長	い	F	サブリーダー
地域連携部会長	あ	O	
	う	EGQのうちの一人	

研究チームには各校から1名以上入ってください。

○○中学校区 ○○部会

部会長		副部会長		
部員				

【目指す子ども像】

中学校区の目指す子ども像、及び地区全体で取り組む実践研究課題を記入する。

【實踐研究課題】

【児童生徒の実態】

各部会の観点から見た児童生徒の実態を記載する。
(優れているところ、直面している課題、各種調査等の結果、学校評価等)

【部会のねらい】

視点	＜A＞ 教育課程の 工夫改善	＜B＞ 教育活動の 連続性の確保	＜C＞ 教職員間の 連続・協働	＜D＞ 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

下記の取組と特に関連している項目1つに○印を付ける。

取組	実践－検証－評価 までを見通した取組とする。
成果	
課題	年度末に、成果・課題をまとめる。

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
	P		D							C	A	P
	活動計画を記入する。											